

土地利用の基本的な考え方について

今後実施する入居者調査や、事業者意識調査における基礎資料として、現段階における町の土地利用の考え方を「土地利用の基本的考え方（たたき台）」として整理しました。

その内容は以下のとおりです。

項目	内容
まちづくりの基本コンセプト	<p>建国 1300 年の能登地域において、その中心地として栄えた歴史ある中能登町に、新しいライフスタイルを提供するコンパクトな“まち”を創造します。</p> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>新 NAKANOTO STYLE</p> </div> <p>【方針1】 誰もが集い・ふれあい ・支え合うまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 気軽に集える交流の場 ・ 豊かな多世代居住支援 ・ 花・緑・水の季節感ある景観 <p>【方針2】 多世代が暮らしやすい ユニバーサルデザイン</p> <p>【方針3】 心と体の健康を保つ ウェルネスタウン</p>

項目	内容
土地利用の基本的な考え方	<p>①町営住宅を集約し、地区西側に整備する。(町営住宅建替ゾーン)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 旧滝尾小学校跡地におけるアプローチ動線を町営住宅とその他と分離し、現町営住宅の静かな居住環境を確保する。 ・ 比較的若年層の居住者の多い既存町営住宅の移転先として2階建て構造とし集約化する。 <p>②既存施設を活かした新たな子育て支援・健康増進施設を整備する。(子育て支援・健康増進ゾーン)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 旧滝尾小学校体育館およびランチルームを活かし、公民複合施設の整備を行う。 ・ 公益機能のほか、民間ビジネス機能を導入した施設とする。 <p>③能登地域の商業コアゾーン（鹿島ショッピングセンター、道の駅織姫の里なかのとなど）に近い利便性の高い地位性を活かした施設を整備する。(民間事業ゾーン)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 旧高尾小学校跡地に対して上記施設を北・西側に整備することで、東側にまとまった敷地を創出する。 ・ 創出した敷地は、民間事業者の発想による施設整備を行う。

土地利用方針図

